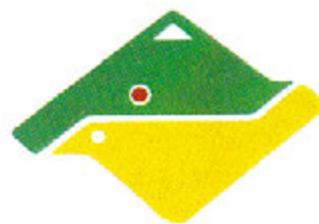


旭川市P連 第6号

事務局だより

平成26年7月1日



事務局所在地：旭川市6条通5丁目 日章小3F ☎ 23-2916

変化こそ安定 Part 2 ～子どもたちとともに 子どもたちのおかげで～

前号で、村井会長のこの言葉をご紹介しました。それを受けて、市P連の各専門部ではどのように変化をしようとしているのか。今回は、その一旦をお伝えいたします。

まず、総務部ですが、「記念誌発行に向けた取組の推進」と「ホームページの充実」が挙げられます。実は旭川市PTA連合会が発足して、今年が67周年になります。3年後が70周年ということで、これを機会に記念誌づくりの取組を進めることになりました。この事業は、古きを訪ねて新しきを知る「温故知新」として、PTAの歴史を振り返り、今後の活動の充実・発展につながるものと期待しているところです。

2つめはホームページの充実。少しずつ整備が進められてきましたが、今年はさらに進化（変化）を図るべく具体的な活動の検討が進められています。単Pの活動紹介コーナーを設けることもその一つですが、これは、各ブロック及び単Pの皆さんの支えがなければできません。どうぞご協力をよろしくお願いいたします。

続いて研修部です。この部は、PTA研究大会の企画・運営を受け持ちますが、「変化」の取組は、運営面と研修内容面から挙げられます。運営面では、大会当日の受付の仕方を変えること。皆さんにもっと気持ちよく大会に参加していただけるようにということで、検討を進めているところです。

研修内容面では、協議形式の部会を増やすこと。このことで、参加された皆さんが主体的にその部会に関わることができ、より充実感のもてる研究大会になるのではないかとということで準備が進められております。

3つめは事業部です。この部は、事業内容そのものの変化を求め、「なぜ新規事業が必要なのか」という問いかけから今年度がスタートしました。新規事業の考案のためにブレインストーミングの手法を用いるなど、会議の進め方にも工夫（変化）があります。どのような事業創出になるのか、今後の展開が楽しみです。

この他に特別委員会として母親委員会があり、母親研修会の企画・運営を受け持っています。母親研修会は、全ての分科会を参加体験型で運営し参加者から大いに好評を得ておりますが、これも毎年の変化の積み重ねにより定着したスタイルです。

最後に、活動全体に関わる変化として会計業務に対する取組があります。各事業の会計に関することは、どうしても事務局任せということになりがちだったのですが、各事業の予算立案から決算処理まで、各部で担当を決めて主体的に取り組んでいくということになりました。各役員は、家庭・仕事があり、単Pの役員を受け持ち、その上での市P連役員。忙しさは並大抵ではありません。その上で、さらにこのような面にも主体的に関わっていくという姿勢が本当に立派。頭が下がります。

以上、ざっと「変化こそ安定」という観点から、各部の様子をお伝えいたしました。会員の皆様には、いろいろな場面で何かとご支援・ご協力をいただくことがあろうかと思いますが、何とぞよろしくお願いいたします。



☆☆☆☆☆☆ **6/13 以降の経過** ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

- 6月14日(土) 北海道PTA連合会総会出席
村井会長・高野前会長他 4名が代議員として出席
- 6月17日(火) 第2回総務部会 16名出席
- 6月20日(金) 第2回研修部会及び懇親会 25名出席
- 6月24日(火) 第3回母親委員会 24名出席
- 6月26日(木) 神楽ブロック研修会・懇親会 村井会長出席
- 6月29日(日) 2014北海道綱引きフェスティバル in 旭川27
市P連有志チーム出場



当面の行事・会議等の予定

- 7月 4日(金) 北部ブロック研修会・懇親会
- 7月 5日(土) 北海道PTA連合会役員会
並びに母親広報委員会・事務局長会議
- 7月 8日(火) 第3回総務部会
- 7月18日(金) 第3回研修部会



去る6月14日の道P連総会において、前会長(現顧問)の高野達也氏が北海道PTA連合会会長表彰を受けられました。

**第61回日本PTA北海道ブロック研究大会
胆振西部・登別大会について**

先日、大会事務局より第2次案内が送られてきましたので、各学校にも1部ずつ送付しております。

- ・期日 平成26年10月11日(土)・12日(日)
- ・開催地 登別市

参加申込みは7月28日までとなっております。

なお、今回の大会では、第3分科会「学校支援」で東五条小学校PTAに提言発表をしていただくことになっております。

応援の意味も込めて、一人でも多くの皆様にご参加いただければうれしく思います。よろしくお願いいたします。

今年は冷夏との長期予報だったけれど、ここ最近は何となく暑い。やっぱり夏は暑い方がいい。寒い夏なんて様にならない。

7月の声を聞くと、夏休みも近い。子ども達には、暑い夏の中でいろんな体験をさせてやりたい。先日の事業部会の話合いは、まさにこんな親の思いがあふれるものでした。夏祭り・潮干狩り・山菜とり・カヌー・キャンプ…。ほんとに次から次へとアイディアが出て来ます。こんな会議につきあえるなんて、何て幸せ。会議が終わると、3・6へ。このエネルギーもまたすごい。

(事務局 金澤)